
斜陽

敬愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

斜陽

【Zマーク】

N2131S

【作者名】

敬愛

【あらすじ】

斜陽は直治の遺書だけでも一つの作品くらいの価値がある。HUMAN LOSTにも同じ事が言えるね。

「ねえお姉さん自殺って何？」

お姉さんはびっくりして青ざめてしましました。

聞くと幼稚園で「自殺」いうところのが流行っているやつなのです。

それはある心無い先生が始めた遊びで

「日本には年間三万人の自殺者がいます。その人達の気持ちが分からずつに遺書を書く練習をしましょ。」と言ったのだそうです。

「私も書いたよ。遺書。」

それはこんな詩みたいなとても幼稚園児が書けるものではありますでした。

私は「ゆめがあつません。ゆめってこれがわかりません。ねているとそのゆめはとても

たのしくねでいるときのゆめのなかでくらしたりくらいです。いきるひとつです」、「くきたない。だつてほかのいきものをたべるためにじゅしてへいぜんとしている。あそびやくじょとかでじゅす。ひとつひとつだつておなじよつなものです。

わたしにはすきなひとがいません。すきつていうきもちがわかりません。おとうさんはすきです。でも恋じやありません。おとうさんとけっこんしたいとおもつたことがありました。

するとしづせきのおばさんがおとうさんとけっこんするところへ

ぱーの「じどり」もがつまれるよ。とここました。わたしはくるくるぱーなんてことばそれこそしむまでききたくありませんでした。そのときそのおばさんしんでしまえば「いのになんてひどいかんがえがうかびました。それはつみなことだとおもいました。なんとなくむねがくるしくなつていざるのがつらくなつてきてそしてひとせりつへじいはなばたけをみるとつけ綺麗だねなどと言いながら手折つてかざる、それが「うしょうなしゅみだとおもつてこるとおもいます。ひとはすべてがにやになつたときしむんだとおもいます。

じゅみょうへ、わたしまはつまれてきてまだ」ねんです。でもおとながうやつきなのはしつてこます。だつていまてんにめられるかもしないおとしょりをひととこにあつめて「おとしょりのがつ」うだなんていっています。わたしあおそろしくてなりません。しんだほうがましだなどおもこます。じゅ「うまく」。。。

お父ちゃんが帰つてきました。

「あなたちゅうとこ」の子が。。。

「やうか遺書を書いたんだな。どれどれ。。。うん、まだまだだな。ヴィ、生だね。

嫌なヴィから逃げる事は悪い事じゃない。でも死んだら終幕つて書いてるじゃないか。

お父さん、お母さん、お友達との劇から降りるとその分役が足りなくなるんだよ。もし将来苛められたら苛められる役割なんだと思えば良い。恋人と上手く行かなかったら自分が美しくないからだと思えば良い。お化粧もした事ないだろ?~まだ演じきらなきゃならな

いんだ。斜陽が一度と昇らない世界に行くまでね。」

「つーんお父さんの言つてる事難しくてわかんなーい。」

「分かるよ!」なるまで生きるんだね。」

「あなたありがとう。」

お父さんは冷や汗三斗 脂汗 直治の遺書を読んでおいて良かった
と思つたのでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2131s/>

斜陽

2011年10月6日06時09分発行